

実のりお買得情報!



- ☆注連飾り、リース飾り、迎春資材各種も実のりにて販売!!
- ☆しいだけ・ひらだけ・なめこ等の種駒、原木など続々販売中!!
- ☆シクラメン・ポインセチア・シンビジュームなど鉢花各種販売中!!
- ☆豆炭・練炭・薪・薪ストーブ、火鉢など各種取り扱っております。
- ☆不織布、ハウスヒーターなど保温資材各種販売中!!

平成24年12月号

実のり新聞

平成24年12月号 (毎月発行)

営業時間/9:00~20:00
実のり山陽店
 TEL (086) 955-5561
 岡山県赤磐市上市180-1

営業時間/9:30~20:00
実のり玉島店
 TEL (086) 523-0511
 岡山県倉敷市玉島爪崎5-1057-1

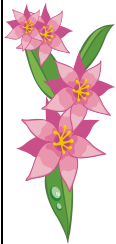
営業時間/9:30~20:00
実のり大安寺店
 TEL (086) 214-2338
 岡山県岡山市北区野殿西町418-1

営業時間/9:00~21:30
実のり伊予三島店
 TEL (0896) 23-0600
 愛媛県四国中央市下柏町688



今月はシンビジューム特集!!

お歳暮はもちろん、クリスマスやお祝い事、新年のご挨拶など、様々なご用途に是非ご利用ください。



シンビジュームは洋ランの中ではとても丈夫で、日本の気候に合った、とても育てやすい洋ランです。シンビジューム、デンドロビュームは葉が少し傷んだだけでは枯れず、寒さにとても強いのも特徴です。通常シンビジュームは、最低気温が5度以上あれば越冬でき、冬のシクラメンと同じように育つので、冬のシクラメンを育てることができればシンビジュームも育てることができます。花姿も良く、花もちも1つの花だけで1ヶ月ほどもち、次から次と花を咲かせるので、3ヶ月ほど花を楽しむことができます。綺麗に咲き誇った花は本当に嬉しいものです。綺麗に咲かせるためには育て方のポイントをしっかりおさえて、管理をしていきましょう。

●置き場所(日光が大好き)

洋ランの中でもシンビジュームは日光が大好きな植物です。いつもよく日に当たる場所に置いて下さい。具体的には、春が過ぎた5月頃になれば戸外に出して、強い日光に当てます。強い日光に当てるといっても、春になっていきなり戸外の直射日光に当てるとさすがに葉焼けします。曇りの日の直射日光に当てるとだんだん慣らします。人間の日焼けと同じです。真夏の日中の一番日が強い時間は遮光したほうがよいです。10月になれば室内に移動し、窓辺の日当たりが良い場所に置きましょう。秋の日光は元気なバルブを育てるのに大切なので、この時期は株元までしっかり日に当てるようにします。

●温度(寒さと暑さに強い)

シンビジュームは寒さにも暑さにも強い洋ランです。寒さの目安としては、冬の最低温度は5度ぐらいを保てば大丈夫です。冬に15度以上の温度になるようだと蕾が黄ばんで落ちることがあります。寒い冬の間は5度から15度ぐらいの温度を心がけてください。ストーブの側に置くことはできません。もし冬でも比較的高温になるのであれば、湿気と霧吹きによる水分補充をしてください。夜間・早朝の最低気温が10度ぐらいになれば、戸外で育てることができます。



●季節ごとの対応

5月~9月の夏の季節、戸外で育てている時期は暑くなります。真夏の暑い日中は葉に水をかけるなどして乾燥を防ぎましょう。葉焼けの防止にもなり、元気に育ちます。洋ランは秋になると乾かし気味で栽培する品種が多いのですが、シンビジュームは乾かさないようにしてください。秋になり気温が低くなり始めたら春に比べて水を控えますが、それでも乾かすことはないようにします。冬から春にかけての時期は、花芽が伸びてきます。この時期、気温は低めでもたっぷり水を与えます。水が不足すると、せっかくできた蕾が黄色くなって落ちてしまいます。それから冬は空気が乾燥するので、霧吹きなどで葉や株に水を吹きかけるのはとても良いアイデアです。



●キレイに咲かせるためのポイント

冬に蕾が伸びたからといって、すぐに暖かい部屋に移動したりしないで下さい。蕾がつくと、ついついそういう事をしたくなったりします。それをぐっと我慢して、開花を待つようにします。なぜかという、急に暖かくなったりすると、蕾の水分がなくなり、黄色くなって落ちてしまうことがあるからです。冬の暖かい部屋はとても乾燥しているからです。花が咲いてくると当然観賞が楽しめる室内に置きたくなります。シンビジュームを冬の暖かい部屋へ移動した場合は、霧吹きなどを使って水分補充をします。もともと暖かい部屋に置いてある場合も霧吹きで十分に水分を与えてください。これがキレイに咲かせるためのポイントです。



シンビジュームの花が終わった後はどうするの?



●シンビジュームを疲労させない

シンビジュームは品種によって開花期間が多少異なりますが、通常3ヶ月位咲いている物が多く、そのまま株で咲かせていると、開花に栄養が取られ、株が弱ってしまいます。その事もあり、1ヶ月~2ヶ月程度株を楽しめたら今度は株元から花茎を切り取り、花瓶で楽しめることをおすすめします。株の疲労が異なり、春からのスタートが違ってきますので、今後はそうされる事をおすすめします。シンビジュームの場合、基本的には春に新芽が成長して、その株(バルブ)に花を付けます。その為、バルブに余力を持たせておきたいのです。とにかく秋までに新芽を十分成長させるのが、次の花を咲かせる為に必要な条件ですので、次回はぜひ実施してみてください。



